



議会だより

ひだか川

No. **73**

令和6年11月1日発行

発行／日高川町議会

住所 和歌山県日高郡日高川町土生160番地

TEL. 0738-22-9504

FAX. 0738-22-2093

E-mail : gikai@town.hidakagawa.lg.jp



「ジャバラ」

第4回臨時会

第3回定例会

- こんな質疑を行いました…………… 2
- 国へ意見書を提出…………… 5
- 一般質問（4名登壇）…………… 7
- 委員会視察報告…………… 12

全て原案のとおり可決！！

8月20日に第4回臨時会が開かれ、工事請負契約の締結1件、補正予算1件が提出され原案のとおり可決しました。

9月13日から19日まで第3回定例会が開かれ、工事請負契約の締結1件、条例の一部改正2件、補正予算6件が提出され、全て原案のとおり可決しました。同時に提出された令和5年度一般会計等の決算認定は、「決算特別委員会」を設置し、閉会中に審査することになりました。

議会からは意見書1件を提出し、可決しました。

一般質問は、4議員が行い、町執行部の取り組み等を問いました。

こんな質疑を
行いました



第4回臨時会

●工事請負契約の締結
(令和5～6年度 早
蘇中学校増築工事(技
術棟)

仮契約を締結したので、町議会の議決に付すべき契約に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものです。

契約の相手方は、有田郡湯浅町の中平建設株式会社で請負金額2億4千750万円です。
(賛成全員)



早蘇中学校

問 落札率、指名業者数と内訳、応札した業者数と内訳はどうか。

答 落札率は87・8パーセント。10業者を指名。町内2業者、郡内7業者、郡外1業者だ。応札したのは5業者で、町内2業者、郡内2業者、郡外1業者だ。

問 今回の入札は落札率が低い。入札の方法が変わったのか。

答 本年7月から導入した総合評価方式による低入札価格調査対象工事とした。

本町が発注する建設工事の入札については、基準額を下回った場合に自動的に失格となる

最低制限制度となっているが、その入札価格で適正な工事が可能かどうか調査することにより公共工事の適正な施工確保を図ることができる。結果、現在本校の増築工事を施工している業者が落札した。

問 この工事の基準額は何パーセントだったのか。

答 基準額は93・8%だった。

問 基準額を下回る額で工事ができると判断した理由は何か。

答 現在同地で増築工事を施工している業者で、効率的に技術者や下請業者が配置できる。現場管理事務所も有効活用できるため現場管理費の軽減が可能となる。工事の積算でも町の価格より安価に

なる工種もあり、妥当と判断した。

●令和6年度一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億1千361万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、99億2千223万1千円とするものです。
(賛成全員)

問 価格高騰対策で調整給付金の対象者が申請し忘れた場合の対策はどうか。

答 調整給付金の申請期限が10月末となっている。対象者には住民税で足りない分、所得税で足りない分の合計額を記載した申請書を送付する。
期限まで申請がない場合、勸奨の通知、連絡を検討する。

問 新型コロナウイルス
の新接種は個別接種と
なるのか。窓口負担な
どはどのようになるのか。

答 接種の対象者には9月末までに、案内と説明書、接種可能な医療機関の一覧表、医療機関宛ての依頼書、裏には予診票を印刷して送付する。

接種希望者は、医療機関一覧表に記載のある医療機関に予約し、接種することになる。公費負担とし、自己負担は必要ない。

第3回定例会

●工事請負契約の締結
(令和6年度 旧高津
尾小学校解体工事)

仮契約を締結したので、町議会の議決に付すべき契約に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものです。

契約の相手方は、日

高川町の株式会社上平建設で請負金額1億483万円です。
(賛成全員)

●日高川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

令和5年に公布された番号法等の一部改正により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴う改正です。

診療報酬改定に伴う歯科訪問診療料金の改正による項注のズレの修正です。(令和6年12月2日から施行)
(賛成多数)

問 紙の健康保険証の廃止により、受診に際してマイナカードが必要となるのか。

答 被保険者の内、カードを持っていない方や被保険者情報をカードに紐付けていない方にはリストアップにより資格確認書が事

前に交付され、受診が可能となる。

問 保険証の紐付けを解く申請は、すなわち資格確認書の発行申請となるのか。

答 資格確認書の申請を条件として紐付けとしてのマイナ保険証利用登録を任意に解除するものである。

問 資格確認書の有効期限は。

答 はっきりと決まっていないが県下統一の判断に倣いたい。

●日高川町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行規則等の改正により所要の改正を行うものです。内容は、地域包括支援センター職員の配置について、人材確保が困難となっている現状を踏まえ、3職種(保

健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)の配置は原則としつつも、複数拠点で合算して配置するなどの柔軟な対応が行えることになったものです。
(公布の日から施行)
(賛成多数)

●令和6年度 日高川町一般会計補正予算(第3号)

補正額9千285万8千円とし、補正後予算総額100億1千508万9千円とするものです。

債務負担行為(追加) 町道大又藤野川線道路災害復旧工事。令和8年度まで4億4千万円です。

地方債補正 主なものは、公共土木施設災害復旧事業、臨時財政対策債、道整備交付金事業です。

主な内容は、公共土木施設災害復旧費、防

災行政無線機器更新業務、道路維持補修費、防災行政無線電波伝搬調査業務、観光施設管理運営費(修繕費)、林道維持費(重機借上料)、小規模土地改良工事、給食米(泉大津市)追加、かわべ天文公園休業手当負担金、防災井戸登録関係(水質検査、表示板)等の

費用を計上したものです。
(賛成全員)

問 大又藤野川線の道路災害復旧工事について、従来の災害復旧とどう違うのか。

答 地滑りの対策として出来るようになったもので、負担法の中で災害とされており、補助率等通常の災害と同じだ。



藤野川大又線



かわべ天文公園

問 防災井戸の登録

に関して、今回50カ所の表示板予算等が計上されているが、今後の考えは。

答 災害時協力井戸制度として考えている。これは災害時の生活用水の確保という観点で、応急給水対策の一環です。

地域で共有し近所の住民に使用してもら

う「井戸の協力」を考

えていて、今回は水質検査費用も計上している。半年間様子を見て、自主防災組織から、ポンプ設置等要望が多ければ、追加で制度設計したい。

問 かわべ天文公園における休業手当の負担について、積算はどうなっているのか。

答 高圧受電設備の

更新工事による休業は、労働基準法第26条に定める使用者側の事由であることから、直近3ヶ月間の賃金実績、工期日数を計算し、12名全員の休業を最大値で計算したものを予算額として計上している。

●令和6年度 日高川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

補正額322万円とし、補正後予算総額14億1千944万9千円とするものです。

主な内容は保険給付費等負担金償還金367万6千円等の費用を計上したものです。
(賛成全員)

●令和6年度 日高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算(第1号)

補正額495万4千円とし、補正後予算総

額1億95万5千円とするものです。

主な内容は電子処方箋管理ソフト、生体情報モニター購入の費用を計上したものです。

問 川上と寒川の両診療所において、マイナ保険証を利用する人

とし、補正後予算総額310万3千円とし、補正後予算総額3億3千85万8千円とするものです。

答 医療DX推進体制整備加算が適用され、6月1日からはマイナカードで受診すると多少患者負担は低かったです。12月以降は、マイナカード、紙の保険証で受診しても負担の増額は同じとなる。

●令和6年度 日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算(第2号)

補正額228万円とし、補正後予算総額6千264万3千円とするものです。

●令和6年度 日高川町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額7千920万4千円とし、補正後予算総額14億3千785万7千円とするものです。

主な内容は返還金等です。

●令和6年度 日高川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額310万3千円とし、補正後予算総額3億3千85万8千円とするものです。

請願・陳情等の審査

総務文教常任委員会

「学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める陳情」は、総務文教常任委員会に付託されましたが、慎重審議を要するため、継続審査となりました。



意見書を国会と政府の関係機関へ提出しました

国土強靱化の強力かつ計画的な推進を求める意見書

近年、我が国では自然災害が激甚化・頻発化しており、本年1月の能登半島地震では、人的被害及び住家被害や、道路や電気・水道等の生活インフラにも甚大な被害が発生した。加えて、半島という地形的な特徴から交通アクセスが限られ、被害状況の把握や救援、物資搬入に多大な支障が生じたことから、防災・減災に向けた国土強靱化の推進は、これまで以上に重要な課題となっている。

現在、政府においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、自治体とともに国土強靱化の取組を推進している中、昨年6月「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」の改正において、「国土強靱化実施中期計画」を策定することが規定されるとともに、本年7月着手することが決定された。今後も切れ目なく国土強靱化に取り組むためには、中期計画の早期策定が求められる。

よって、本町議会は我が国の自然災害の発生状況を踏まえ、住民の生命と財産を守る防災・減災対策を継続的・安定的に実施するため、「5か年加速化対策」の最終年度となる令和6年度補正予算においては、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも例年を大きく上回る規模で確保することを求める。

さらに、「国土強靱化実施中期計画」については、「半島防災」という新たな視点を取り入れ、特に必要となる施策の内容や事業規模、及びその対策期間を盛り込んだ上で、できる限り早期に策定し、当初予算を含め必要な予算・財源について通常予算とは別枠で確保するなど、国において、国土強靱化の取組を強力かつ計画的に推進するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月19日
和歌山県日高郡日高川町議会

(提出先)

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣
内閣官房長官 国土強靱化担当大臣 内閣府特命担当大臣（防災）

日高川町の国土強靱化推進事業は、防災・安全交付金事業として主に道路、橋梁の改良、修繕など。農村地域防災減災事業として、ため池の整備などに活用しています。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

上 程 議 案					結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
※全賛・・・全員賛成で同意・承認・可決・認定・採択						山本	堀	入	井	熊	伊	山	龍	山	堀	吉	原	
賛多・・・賛成多数で同意・承認・可決・認定・採択						喜平	辰雄	誠	満人	重美	禎胤	本	田	本	江	本	文	
賛少・・・賛成少数で不同意・不承認・否決・不認定・不採択																		
第4 回臨時会	補正予算										（注）議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明。							
	令和6年度 日高川町一般会計補正予算（第2号）					全賛	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	その他																	
	工事請負契約の締結について （令和5～6年度 早蘇中学校増築工事 技術棟）					全賛	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
第3 回定例会	条例の一部改正																	
	日高川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について					賛成多数	●	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●
	日高川町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について					賛成多数	●	○	○	●		○	○	○	○	○	○	●
	補正予算																	
	令和6年度 日高川町一般会計補正予算（第3号）					全賛	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度 日高川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）					全賛	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度 日高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算（第1号）					賛成多数	●	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●
	令和6年度 日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算（第2号）					賛成多数	●	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●
	令和6年度 日高川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）					全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度 日高川町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）					全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	その他																	
	工事請負契約の締結について（令和6年度 旧高津尾小学校解体工事）					全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発議																	
	国土強靱化の強力かつ計画的な推進を求める意見書の提出					全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	決算																	
	令和5年度 日高川町一般会計歳入歳出決算の認定について					決算特別委員会を設置して付託 委員は、議長・監査委員を除く議員 10 名 委 員 長：山本 喜平 議員 副委員長：山本 芳徳 議員												
	令和5年度 日高川町笠松農業用水及び公共用水管理運営特別会計歳入歳出決算の認定について																	
令和5年度 日高川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町川上財産区特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町寒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について																		
令和5年度 日高川町水道事業会計決算の認定について																		

一般質問

町政の 今を問う！



4議員が9項目の質問を行いました。



ページ	質問者	質 問 事 項
8	山本 喜平 議員	・官製談合再発防止の取り組みについて ・町に対する寄附も採納事務の取り扱いを定めるべきでは ・風力発電による被害を町はどう受けとめているのか
9	原 孝文 議員	・着工した船津メガソーラーに問題はないか ・環境警備隊の行動を集落限定に ・新白馬風力発電計画への県知事意見をどう見るか
10	熊谷 重美 議員	・県道御坊中津線の一部、和佐地内の道路改修について ・災害時の避難拠点について
11	山本 芳徳 議員	・町内中学校統合後、通学時間差による学力格差は生じないか



1

官製談合再発防止の
取り組みについて

検討委員会の意見を参考に、決定する



山本 喜平 議員

問

町は官製談合再発防止検討委員会を発足している。

①事件の原因は、町行政と建設業協同組合と

の癒着からではないのか。

②入札制度は、一般競争入札にするのか。

③工事基準額を入札前に公表するのか。

④入札情報（入札の公告・結果、入札参加資格、工事の発注見通し）を公表するのか。

答

①特定の者が管理職的立場で長期間かわつてきたことによるものだ。職員には、常に責任ある行動を求めている。

②一般競争入札を基本とする。その中で町内業者が施工可能な工種は、条件付き一般競争入札とする事も必要。

③検討委員会の意見を参考に、最終的には町長の責任で公表するか決定する。

④入札結果及び有資格者名簿は、現在閲覧としてある。今後はホームページへ掲載する。

2

町に対する寄附も採納事務の取り扱いを
定めるべきでは

ルールづくりの必要性を検討する

問

①本町には定められた規程があつて、寄附の採納事務が行わ

入札の公示は、原則指名競争入札を採用していることから入札公告は行っていない。今後、一般競争入札を採用した場合、ホームページで入札案件の広告を行う。

答

①寄附の採納事務に関して定めた規程はない。

②令和4年度では、一般寄附金10万円余り、ふるさと納税寄附金5956万円余り、令和

5年度では、育英奨学基金への寄附も含めた一般寄附金として70万円余り、ふるさと納税寄附金で9177万円の寄附を受けている。

②町に対して、現金、物品や公有財産などの寄附申し出があつた場合の決まりを定めておくべきではないか。

5年度では、育英奨学基金への寄附も含めた一般寄附金として70万円余り、ふるさと納税寄附金で9177万円の寄附を受けている。寄附は現金だけでなく物品などもあり、思いも様々だ。

寄附を受けるにあつての一定のルールづくりの必要性について検討する。



風力発電

3

風力発電による被害を町はどう受けとめているのか

健康影響を意識し、見守っていく

問

①町は、風力発電による騒音被害や健康被害の実態を周辺市町も含め、調査すべきでは。

②町は、風力発電によ

る被害の低減と解消に
むけた取り組みを周辺
市町と協力してやるべ
きでは。

③超低周波音や騒音は
周辺へ届いても、被害
となる人、場所は限ら
れている。住民の福祉
の増進に努める地方自
治体として、改善に向
け取り組むべきでは。

答 ①町独自の調査
は考えていない。風力
発電による健康影響を
意識し、健康状態の把
握を進め、見守ってい
く。

②計画している事業者
には、稼働後の事後調
査と地域住民には丁寧
な説明をするよう依頼
していく。周辺市町と
は、担当者間での情報
共有はできている。今
後必要があれば協議し
ていく。

③純音性成分の小さい
機種を選定することで
影響の低減につながる

る。常に事業者に依頼
している。また、地域
住民に音の原理や最新
の知見を分かりやすく
説明するよう依頼す
る。

1

着工した船津メガソーラーに問題は ないか

大きな問題は生じていない
と認識している



原 孝文 議員

問 過去2回の質問
で事業計画のずさんさ
や問題点を指摘してき
た。

すでに6月より着工
し、木が切られ、重機
が土を動かしている。
しかし、沈砂池も未だ

造らず、立木の処理も
不透明、町道の占有許
可や漁協の同意も未定
のままだどうなってい
るのか。

46ha開発であるの
に、環境アセスメント
をおこなっていない。

この工事における監視
や指導を中心とした監
督業務は、どこが責任
をもって行つか。業
者への指導だけで済む

のか。

答 当事業は県条例
に基づいて開発許可が
下りている。業者は法
令を守り、適切に対応
する責務を負ってい
る。

町は県のサポート役
として、共に指導監督
にあたりたい。

関係課で現地を視察
し、状況の確認もして



船津メガソーラー施工地

おり、着工後、これま
でのところ大きな問題
は生じていないと認識
している。

今後、本格的な掘削
に入る前に、沈砂池の
設置を指導しており、
立木処理も計画通り進
めることとなっている
。町道変更や漁協へ
の対応も確認した。

2

環境警備隊の行動を 集落限定に

農作物を守ることを重点に
改善を検討したい

問

限りなく被害が
拡大しているなかで、
住民での対応はとくに
限界を超えている。今年

は特にひどく、来年は
休耕地が間違いなく増
えるだろう。町の認識
は甘いのではないかと。

町として、警備隊の
改革を示唆している
が、問題点をどう分析
しているのか。本当に

実効性があり、効果のある策として、隊の役割をもっと明確化して対策に当たるべきである。

町の直轄事業に格上げし、その警備範囲も集落限定にすることが求められる。警備日数や時間を増やすこと、銃器の活用を増やすことなど、報酬を値上げしてでも対応すべきである。

【答】 活動日の関係で隊員の確保が難しいことや、農地以外の山中での追い払いなど問題点がある。

農作物を鳥獣から守ることを重点に、耕地地周辺を中心に効果があると考える範囲での活動を原則としたい。

町直轄事業化、活動時間、報酬の改善等は検討したい。銃器の活用増についても県と協議していきたい。

3 新白馬風力発電計画への県知事意見をどう見るか

次の段階で影響を低減できる計画が提示されると思う

【問】 8月28日付、当計画方法書への県知事意見は厳しいものである。

最大の特徴は、「脱炭素社会への貢献目的を、地域環境の改善をしてまで行う当事業に意義があるもの」とは言い難い」と、陸上風力の是非そのものを疑問視していることである。

また、工事計画が確定していない中で影響回避の根拠がないこと。稼働中の現施設を検証した上での検討となっていないこと。工事手順が不明なことなど様々な指摘がされている。

更に約3倍となる大型化の影響、生活圏域との距離の近さ、これらは地域住民の大きな不安となること。本町でも新設史和中学校や団地への音の被害は大いに心配される。

この知事や専門家の意見を熟考し、町としての意見をはっきり言うことが必要では。

【答】 規模や配置などを検討した上で、業者より影響を低減する計画の提示があると考えている。

県へは、計画の当初段階から、様々な点で意見を上げており、足

りない部分があれば、今後とも意見し、業者にも直接伝えようと思う。

1 県道御坊中津線の一部、和佐地内の道路改修について

避難道路でもあり、安全確保が重要、改善に努める



熊谷 重美 議員

【問】

災害時の避難道路でもあるこの道路は、雨量の多い時、川の様な流れが道路一面を覆い、避難するのが大変である。路面も悪く、避難道路として適切でないのはもちろん、一般道路としても

事故に繋がる危険性が高い。流水に関しては側溝が十分な働きをしていないのが一因。路面の修復は、地中のクエン酸を取り除かない限りエンドレスだ。根本的な解決を県に要望するべきである。道路



路面の陥没

側面に亀裂がみられる
が災害を招くことにな
らないか。

答 流水について
は、管渠の断面が小さ
く排水能力に不足があ
ることが確認され、改
修工事に着手の予定で
ある。路面については
一部区間の改善が図ら
れている。大型車両の
通行が多いことや地中

のクエン酸により、他
の場所に比べ舗装の傷
みが激しい。悪くな
れば直すの繰り返しで
は、費用が多額になる
と思うので考えて県に
要望する。側面の亀裂
は、現時点では大規模
な崩壊や地滑りの兆候
はないが、引き続き詳
細な調査を実施してい
く。

もあるが、ペットと一
緒に避難するのは可能
かどうか。

答 当町に存在する
集落の多くが山間地域
または日高川沿いに位
地しているため、全体
的に安全レベルが低い。
低い中でも建物の強度
が高く、他の施設に比
べ幾らか安全性が高い
所を拠点避難所として
いるが、災害時には、
町、県、気象庁からの
情報を入力し避難行動
を取って欲しい。拠点
施設には防災倉庫を設
置し発電機や投光器、
毛布の他、場所によつ
て異なるが30〜20
0人程度の食料品、飲
料水を備蓄している。
ペットと一緒に避難
に関しては、動物愛護
の観点からも、できる
だけ、避難所の中でス
ペース確保に努める。

2 災害時の避難 拠点について

建物の強度が高く他の施設に
比べ幾らか安全性が高い所を
拠点避難所としている

問 町内9カ所避難
拠点があり、その内5
カ所の安全レベルが低
いが、災害時の活動拠
点として機能が発揮で
きるのか。ここを拠点
とした理由は何か。ま

た他に安全レベルの高
い拠点となり得る場所
はないのか、拠点の備
蓄品はどの程度配備し
ているのかを問う。
ペットに関しては、
アレルギーや好き嫌い

1 町内中学校統合後、 通学時間差による 学力格差は生じないか

子供たちの実態を踏まえながら学習環境を整える



山本 芳徳 議員

問 令和8年度に町
内中学校の統合を控
え、新設中学校に期待

が高まる。しかし川辺、
中津、美山地区の通学
時間の差による学力へ
の影響が心配される。
全国的には中学生の片
道通学時間は20分以下
が65%を占めていると
のデータがあるが寒川
地区からは45分と示さ
れており新設中学校に
は特殊な対応も必要に
なると考える。この通
学時間差による影響や
開校にあたってどのよ
うな対応を考えている
のか町の考えを問う。

答 通学時間が長い
と家庭学習の時間が
減って成績がさがるの
ではという懸念がある
かもしれないが、さほ
ど影響はないと思っ
ている。大切なのは生徒
個々がいかに時間を有
効に使えるかであり、
バスの通学時間を使い
参考書を読むことも可
能である。教育委員
会としては今後も実態
を踏まえながら学習環
境を整えることに注力
し、きめ細かい指導、
支援に取り組む。



スクールバス

総務文教常任委員会

◆県内視察結果

令和6年8月5日実施

〔美山小学校視察〕

町立小・中学校の統廃合により、川原河小学校、笠松小学校、寒川第一小学校が統廃合され、令和6年4月に美山小学校が開校した。令和7年度には、川辺地区4小学校が統廃合され、令和8年度には、町内4中学校が統廃合となる予定である。小・中学校の再編が進むなかで、先に統廃合された美山小学校を訪問し、児童並びに教職員の様子や学校施設環境を視察調査した。

統合前から、美山地区3小学校による集合学習やTV会議システムを用

いた授業により、旧3小学校の児童達は年に何回も顔を合わせており、統合時には、児童達は既に馴染んでいたため、スムーズに学校運営をスタートできたとのこと。

旧川原河小学校を校舎としているが、旧校の格差が生じていないか心配していたが、寒川第一小学校の寒小太鼓や笠松小学校の野菜の栽培・販売活動を継承しており、心配は払拭された。

バス通学については、駐車場での受け入れは、教職員2名体制、また、教室で担任教諭が待つ体制を取っている。通学バスが、8時頃到着し、授

業が8時10分に始まるので、時間的には少し窮屈な面があるとのこと。今後、工夫が必要なのである。

横断歩道の整備や交通状況の懸念のお話も伺ったが、教育課が適切に対応するとのこと。学校施設のことも、問題はないとのこと。総じて、順調な学校運営ができていますに安心した。



〔早蘇中学校並びに和佐小学校視察〕

統廃合後の校舎とするために、現在、和佐小学校並びに早蘇中学校の増改築を行っているところであり、その改修内容と進捗状況を視察調査した。

早蘇中学校

校舎増改築の現場及び完成しているプレハブ校舎を視察した。校舎増改築の工事は順調に進捗しており、令和8年2月に完了予定である。プレハブ仮校舎については、隣の教室の音が気になったり、また、大雨の日には、雨音が激しいとのことであったが、幸い、令和7

年度に早蘇中学生は、三百瀬小学校へ仮校舎として移転する予定であり、これは、好判断であった。技術棟新築工事については、視察時点では、入札前であったが、全ての工事が事故なく完了し、生徒達が快適に学校生活を送れる施設となることを願う。



早蘇中学校（央和中学校）

和佐小学校

空調設備設置、受変電設備設置、校舎増改築、外部トイレ設置、駐車場整備の現場について、外部からの目視による視察となつたが、工事は順調に進捗しており、令和7年2月に完了予定である。統合校としては、グランドの広さが気になるところではあるが、かつて和佐小学校が100人規模であったことを



和佐小学校（川辺東小学校）

思えば、運動会などの催しを他の広いグラウンドで開催する工夫等に対応すれば、支障はないであろう。和佐学童クラブが、道路を挟んだ場所に位置しているため、児童達の安全を確保する何らかの対応が必要と感じた。全ての工事が事故なく完了し、児童達が快適に学校生活を送れる施設となることを願う。

旧比井小学校（日高町）並びに旧白崎小学校（由良町）視察

今回は、町内の視察に留まらず、将来的に学校統廃合後の施設利用を見据え、日高町と由良町を訪問させて頂き、優良事例を視察調査した。町外経営者による施設利用と地元利用の、異なる利用方法を視察できたことは有意義であり、今後の本町の取り組みの参考となった。

旧比井小学校（日高町）

公募型プロポーザルにより、利用者を選定し、社会医療法人黎明会がカフェ「ひいのの」、大洋化学株式会社がワサビの水耕栽培で共同利用している。改修費及び維持管理費は、利用者負担、また賃料も利用者から徴収

している。黎明会の前理事長、大洋化学の創業者が、いずれも比井出身ということで、利用者の経営母体が安定していることに安心感がある。



旧比井小学校

旧白崎小学校（由良町）

地元利用に重点を置いた利用であり、指定管理制度により、大引区が、大引コミュニティセンターとして活用している。和洋食堂「しらしよ

う」として、月1回子ども食堂を開催し、平日はレストラン及び産品直売所として営業している。施設の活用方法については、更に検討を加え、利活用を広げていくとのことである。運営費は地元負担であるが、賃料は徴収していない。また、維持管理費、保守料、修繕費は、町負担とのことである。



旧白崎小学校

全議員研修会参加

8月6日に上富田町文化会館で和歌山県町村議会全議員研修会が開催されました。講師は、NPO 法人健康笑い塾 主宰 中井宏次氏で、「こころの笑方箋 ～職場のメンタルヘルスとユーモア～」と題し、仕事や生活における笑い(ユーモア)の重要性(楽しさ)を啓蒙し、「笑いとしあわせ」を届けてくれる講演を聴講しました。

人間力とは「仕事は楽しく・人生はおもしろく」できる力のことである。平素から五感(眼、耳、鼻、舌、身一心)で四季を感じる訓練をすることに心がけ笑い(ユーモア)の実践が「こころ」をご機嫌にして感性を高め、感動に繋がっていく等の詳しい解説をしていただきました。



第26回 日高郡町議長会 親善ゲートボール競技大会

8月26日 みやまドーム



がんばったで賞
受賞



令和6年度 町村議会広報研修会

9月25日、東京で行われた議会広報研修会に参加してきました。研修では、読まれる広報紙の作り方を学びました。パッと伝わる広報紙を目指し、住民の皆様に興味を持って頂ける様、委員会一同努力します。



実りの秋に思ふ
彼岸が明け、曼珠沙華が満開となったころ穫り入れとなった。日高川筋が株田となったが、谷々は穫り入れとなる。
それほど日高川町は広い。そう思うのは農家だけで獣どもには関係ない。町内外いたる所で、サルがはぐれだろつと群れだろつと悪さをしている。シカ、イノシシはお決まりだが、保護獣のツキノワグマの出没にはブルブルだ。
森林面積の広い紀伊半島で人の生活圏はたかが知れている。よほど獣らの生息域を荒らしているのか。
苦しめられている我々にその覚えはないが、全てが狂っているのは体感できている。温暖化、戦争、メディア、SNSで対立をおおる報道と発信。
日高川は、ほっとする心をとリモどす、美味しいみかんをおくり届ける町であり続けてほしい。

(山本喜平)

